

JA全農ウィークリー WEEKLY

4面

県本部直営精肉店「JAのお肉屋さん」 4店舗目オープン (広島県本部)

2面



地方創生の取り組みの意義を全農職員に説明する神出元一理事長(2面)



グローバルGAPを取得した新潟県JA十日町管内のきのこ生産者の皆さん(4面)



広島県本部直営精肉店「JAのお肉屋さん」で対面販売・バック販売が人気(4面)

- 2 埼玉県久喜市で第52回全農乾椎茸品評会(麦類農産部)
- 3 食育月間に合わせ食育普及啓発キャラバン(岩手県本部)
「牛乳の日」「牛乳月間」に合わせ
高校生に「山形県産牛乳」PR(山形県本部)
- 4 JA十日町管内のきのこ生産者が
グローバルGAP取得(新潟県本部)
- 5 緊急連載 反グローバリズム・
反新自由主義の潮流③
「種子法廃止が招く農業・食の安全の崩壊」
東京大学教授 鈴木宣弘さん(広報・調査部)
- 6 JAズームイン(JA前橋市)

7 畜産情勢(畜産総合対策部)

8 プロパン絵のコンクール作品募集
(総合エネルギー部)JAタウンショップ紹介
神戸味覚館(JA全農兵庫)Web版JA全農ウィークリーは
こちらから ▶▶▶▶▶▶▶▶<https://www.zennoh-weekly.jp/>『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはこちらから

News!



日本の原木乾椎茸と「うまみ」「だし」文化を世界に広めよう

埼玉県久喜市で第52回全農乾椎茸品評会を開催

麦類農産部

全農は第52回全農乾椎茸品評会を埼玉県の久喜総合文化会館で開き、農林水産大臣賞ほか優秀者を表彰しました。生産者・関係者ら約170人が参加しました。

原木乾椎茸は、原発事故により東日本産地が直接的な被害に遭うとともに全国的に風評被害を受けました。東日本産地では現在でも出荷再開に向けた懸命な努力が続けられています。昨年からは今年にかけては暖冬・少雨の影響もあり、例年にも増して栽培管理が難しい年となりましたが、品評会には昨年を上回る、全国25県から630点の出品がありました。

丸となり、素晴らしい日本の原木乾椎茸を未来につなげよう」と主催者代表あいさつをしました。

また、「こうしん中葉中肉の部」で農林水産大臣賞を受賞した鳥取県の上谷春氏うすたはるから、「気象や生産環境の変動に対応し、地元の仲間とともに安定生産に努める」と受賞者を代表してあいさつがありました。

表彰式で、麦類農産部の鈴木章宏部長は「令和という新しい時代に、関係者一

全農は、生産者と消費者の懸け橋となり原木乾椎茸をもっと知ってもらい、食べてもらえるよう取り組んでいきます。



こうしん中葉中肉の部
農水大臣賞受賞品



受賞者を代表してあいさつする
上谷氏

News!



農泊、労働力支援で地域を元気に

神出理事長が地方創生説明会

広報・調査部

広報・調査部は6月、神出元一理事長による地方創生に関する全農の取り組みについての説明会を、全農職員向け、メディア向けそれぞれで開きました。農泊や労働力支援、農福連携といった取り組みを全農が積極的に展開していくことで、地域社会の活性化だけでなく農業生産の拡大にもつながると、意義を訴えました。

職員向け説明会は14、17日に東京・大手町のJABビルで、28日にはアグベンチャーラボで開き、計約230人の職員が出席。メディア向けには20日にJABビルで開き、新聞やテレビの記者ら約30人が出席しました。

が農村に長期滞在し余暇を楽しむ農泊の事業化や、生産現場へ農作業の従事者を提供する労働力支援の取り組みなどを説明。「部門の垣根を越え、オール全農の職員として参画する人が一人でも多く出てくればうれしい」と、積極的な挑戦を呼び掛けました。



アグベンチャーラボで開かれた説明会で、地方創生の取り組みの意義を全農職員に説明する神出理事長

全農職員からは、「労働力支援には多くのビジネスチャンスがあると思う」「農泊の価値を考える良い機会となった」といった感想が寄せられました。メディア向け説明会でも、「農泊をビジネスとしてどう収益を上げていくのか」「農福連携を組合員にどう展開していくのか」といった質問が出るなど、全農の今後の取り組みに高い関心が寄せられました。



食育月間に合わせ食育普及啓発キャラバン

県内5カ所の保育園などで絵本の読み聞かせや歯磨き指導も

岩手県本部

岩手県庁で行ったキャラバン出発式



盛岡市の岩手県庁で6月5日、出発式が行われ盛岡幼稚園の園児による標語の読み上げや踊りが披露されました。

その後キャラバン隊は岩手町立沼宮内保育所を訪問

岩手県本部は6月の「食育月間」に合わせ、岩手県・歯科衛生士・栄養管理士と共同で「食育普及啓発キャラバン」を実施しました。この取り組みは、県内の保育園で絵本の読み聞かせや歯磨き指導を行い、子どもたちへ食育の普及を図ることを目的としています。キャラバン隊は6月中に5日間、県内計5カ所の保育園などを訪問しました。

「純情体操」を踊る岩手町立沼宮内保育所の園児ら



し、食育普及活動を行いました。岩手県本部からは「いわて純情むすめ」と「じゅんきくん」が参加。食べ物に関するクイズと「純情体操」を披露し、園児たちと笑顔でハイタッチや握手を交わしました。

岩手県本部は、今後も次世代への食育普及活動に努めます。



高校生、モ〜っと牛乳を飲もう!

「牛乳の日」「牛乳月間」に合わせ「山形県産牛乳」PR

山形県本部

「6月は牛乳月間です」と呼び掛け高校生に県産牛乳と県産米「雪若丸」おにぎりセットを配るフレッシュミズのメンバー



間です。地元産の新鮮な牛乳をたくさん飲んでしっかり

今年には県本部職員のほか山形県J A女性組織協議会フレッシュミズ部会のメンバーや山形県の職員も参加しました。

この活動は「牛乳の日」「牛乳月間」のPR活動の一環で、学校給食が中学校で終わってしまつた県内の高校生をターゲットに県本部が毎年行っています。

山形県牛乳普及協会(事務局:山形県本部)は6月3日、山形市のJR山形駅で県産牛乳200リットルと県産米「雪若丸」おにぎりのセット500袋を通学中の高校生に無料配布しました。

栄養を取ってね」と声を掛けながら袋を渡すと、多くの高校生がうれしそうに袋を受け取っていました。配布開始から10分ほどで配りきってしまうほどの好評ぶりでした。



山形県産牛乳PRに参加した皆さん

News!



県本部直営精肉店「JAのお肉屋さん」4店舗目オープン

生産者の所得増大へつなげる全農直営の販売展開

広島県本部

対面販売・パック販売が人気



地域に密着した商品展開を目的として、地元で古くから愛されてきた上質な「神石（じんせき）牛」や、国産米を飼料にブレンドした「お米（マイ）ポーク」などを対面やパックで販売しています。オープン当日は、多くの来店客でにぎわい、お肉屋さんを訪れた人からは「地元の精肉を安心して購

生産者所得の増大につなげるため、広島県本部は県内で4店舗目となる直営の精肉店「JAのお肉屋さん」を6月18日、JA福山市の「食と農の交流館 FUKUYAMAふくふく市」にオープンしました。

入することができると大好評でした。

店舗概要

- 住 所：広島県福山市千代田町一丁目2番41号
- 営業時間：午前9時～午後6時
- 営業日：年始（元日～5日）を除き毎日営業
- 売り場面積：売り場全体：約756㎡、精肉作業室：約69㎡
- 取扱品目：牛肉・豚肉・鶏肉・加工品（ミンチ）、対面販売・パック販売

多くのお客さまでにぎわった「FUKUYAMAふくふく市」



News!



グローバルGAPをきのこで取得

JA十日町管内の6法人、5個人の11経営体

新潟県本部



グローバルGAPを取得した生産者の皆さん

品目の内訳は、ナメコ、エノキタケ、エリンギの約3600ト。同JAでは、今後の販路確保を考え、実需者に対して産地としての取り組みの見える化をすることができると認証取得に取り組みました。

今回の取り組みにより「生産者相互の連帯感が生まれた」「GAPの理解度が飛躍的に向上した」「共選場から異物の混入報告が減少した」「記録から生まれる改善点が

新潟県JA十日町管内きのこ生産者11経営体は、6月3日付でグローバルGAP団体認証を取得しました。

発見できた」「施設全体の管理・改善がしやすくなった」などさまざまな効果がみられました。



GAPを取得のナメコ、エノキタケ、エリンギ

講演 鈴木 宣弘 東京大学教授

種子法廃止が招く農業・食の安全の崩壊

地域のネットワークで対抗を

昨年4月に種子法が廃止され、各方面から懸念の声があがっています。6月18日、NPO法人「良い食材を伝える会」が東京都内で開いた講演会で、東京大学の鈴木宣弘教授が種子法廃止について解説されましたので、紹介します。

【文責、広報調査部】

「種子法」廃止は、規制緩和の流れの中でのとどめです。グローバル種子企業が目指すのは、世界中の種を自分のものにし、買わないと生産も消費もできないようにすることです。邪魔になつたのが日本の「種子法」。国が金を出していい品種を作り、安く



米国の言いなり 日本を狙い撃ち

県が農家に提供し国民の生活を支えていました。即刻やめなさいと、議論もほとんどしないまま国会を通しました。大きな理由は、民間活力の最大限の活用です。農業資材の価格も下がるというのが名目でした。

しかし、安くいものを提供するために「種子法」があり、やめれば必ず種の値段は上がります。今民間で流通している種の価格は、県の奨励品種の10倍もします。遺伝子組み換え

ではないと言われていますが、なぜか超多収米で、農業をかけてもびくともしない。ほとんど遺伝子組み換えじゃないかと怪しいのですけど、これを広げるには「種子法」があつてはいけないのですよ。

それだけでなく国と県が開発した素晴らしい種は、全部民間種子会社がもらうということになっています。新しく作った「農業競争力強化支援法」の8条の4項に「今まで国と県が開発した種は民間種子会社に差し出しなさい」という条文を入れたのです。種は買わなきゃいかんものにし、自家採取を禁止しました。

中南米の各国で、いわゆる「モンサント法」という一連の法律で全く同じことをやられてきました。インドもです。中南米の国々やインドは猛反発して、モンサントの特許を無効とか、モンサント排除という形で排斥し始めました。そこで日本だけは何でも言うことを聞くと、徹底的にやっているのです。

もし独占的な市場シェアを持つ遺伝子組み換え種子によって人体に何らかの影響が出て、その対処法や薬剤をセットで開発しておけば同じグループの製薬会社のもうけにつながります。安易にこうした流れを受け入れる政治的判断が今まさに問われているのです。

ゲノム編集も 早々と野放しに

もう一つ加わったのがゲノム編集です。ただ切り取るだけの部分から組み替えてもいけないのだから野放しにしろと米国から言われ、早々と野放しにすることを決めました。消費者庁だけがちよつと抵抗しています。が、たぶん抵抗できません。なので表示もできません。われわれは病気になるても、何で病気になったのかさえ分からないところまで追い込まれないかと思ひます。食べ物安くなったと喜んでいて、遺伝子組み換え、添加物など、それだけでもリスク満載で、どこが安いのでしょうか。

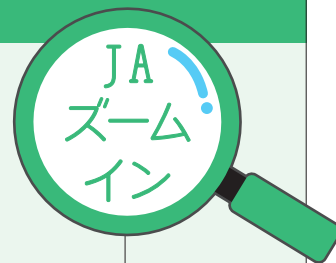
「種子法」の廃止も含め、地域、地域で私たちはいかがわし

い物を受け入れられないようなネットワークを作ればいいわけじゃないですか。安全・安心な物を作ってください。皆さんはここにいます。その人たちのおかげで命が守られているのだから、われわれは一心同体である。そういう形で支え合う構造ができれば、いかがわしい物も排除できますよね。皆さんがリーダーとして自分たちの命を守る。命の安全保障のために、今、不可欠になっていると思います。

(おわり)

特定のグローバル種子企業への「便宜供与」の7連発

- ①種子法廃止 ②種の譲渡 ③種の自家採取の禁止
- ④non-GM表示の実質禁止 ⑤全農の株式会社化
- ⑥グリホサートの残留基準値の大幅緩和
- ⑦ゲノム編集を野放しにする方針



JA職員が匠の技を「見える化」 篤農家が持つ技術を共有

JA前橋市は、JA自己改革で農業者の所得増大を達成するため、JAと全農で進める「農家手取り最大化プログラム」に取り組んでいます。全国で55あるモデルJAの指定を受け、プログラムのひとつ「匠の技伝承」を2018年から開始しました。

「見える化」で JA職員の能力向上

「匠の技伝承」は、農業経験が豊富な匠「篤農家」の技をJA職員が学び、これを勉強会や圃場訪問を通じて中堅生産農家や農業を始めて間もない農業者などに技術を伝承する取り組みです。これまでJAや生産者も感覚的にしか理解していな

かった、篤農家が持つ技術をJA職員が「見える化」をして、それを管内の中堅農家に伝えることで技術向上と職員の能力向上につながります。初年度は、「ナス」で5回、「ネギ」で3回、生産者を交えた勉強会を行いました。この取り組みを通じて、参加者の平均販売高は前年比169%、平均出荷量は151%となり、数字にも表れる結果になりました。

カリキュラムを 充実し継続支援

今年度は開催拠点を3拠点に増やし、生産者が参加しやすい環境作りに努め、4月に開催した「ナス」と「ネギ」の勉強会には、3拠点で27人の生産者が参加しました。

JA前橋市 (群馬県)



概要

平成31年2月28日現在

正組合員数	1万1506人
准組合員数	1万3345人
職員数	445人
販売品取扱高	190億5千万円
購買品取扱高	73億2千万円
貯金残高	2503億6千万円
長期共済保有高	5610億6千万円
主な農産物	キュウリ、ナス、ネギ、肉牛、生乳、肉豚

勉強会の参加者からは、「今まで他の生産者と栽培について話し合う機会がなかったので、コミュニケーションが取れる場を設けてくれたことは、とても有益でうれしい。今後の取り組みに

も期待している」と高評価を得ています。今後も対象品目の拡大やカリキュラムの充実を図り、継続的に「匠の技伝承」の勉強会を実施することで、農家手取り最大化につなげていきます。



匠の技に見入る勉強会参加者



手入れが行き届いた匠の圃場

営農エリア担当職員(中央)と生産者を交えたグループワーク



[畜 産 情 勢]

(畜産総合対策部)



牛 肉

和牛もちあい、交雑牛高値圏

6月の成牛と畜頭数は、速報値で約7万7千頭(前年比93.0%)と前年を下回りました。

6月の東京市場枝肉卸売価格は、速報値で和牛去勢A5が2721円(前年比98.1%)、和牛去勢A4が2405円(同100.5%)、和牛去勢A3が2210円(同103.1%)、交雑牛B3が1629円(同110.6%)、乳牛去勢B2が1065円(同99.2%)でした。

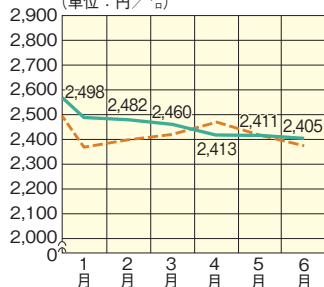
農畜産業振興機構が表した7月の国内出荷予測頭数を品種別にみると、和牛が約4万5千頭(前年比105.3%)、交雑牛が約2万1千頭(同92.7%)、乳用種が約2万9千頭(同99.9%)で、全体では約9万6千頭(同100.7%)を見込んでいます。

消費が鈍くなる季節でもある6月の枝肉相場は、和牛は弱もちあい

で推移しましたが、交雑牛は出荷頭数が少ないことから堅調な相場を維持しました。

7月の枝肉相場は、和牛は前年比で出荷頭数が多くなる予測から見てもちあい、出荷頭数が少ない傾向が続くとみられる交雑牛は現在の高値圏相場を維持していくものと予想します。

牛枝肉相場(東京市場・和牛去勢A-4)
平成31年1月～令和元年6月
平成30年1月～30年6月
(単位: 円/㌔)



豚 肉

もちあいから、やや下げ

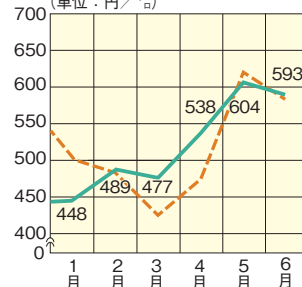
6月の全国と畜頭数は、速報値で約122万頭、前年比95.8%でした。

6月の東京食肉市場枝肉相場は、速報値で593円/kg(前年比100.9%、前月比98.2%)となり、前年同月を上回る結果となりました。

農畜産業振興機構発表の7月出荷予測頭数は、約130万頭(前年比102.4%)と予測しています。

7月は、疾病や時節柄の気候による不安定な供給状況が継続するも、稼働日数が昨年同月と比べ1日多く、7月全体では前年同月を超える出荷が見込まれています。他方、需要面では、前年の高豚価を背景に、輸入チルドボークの販促が先月同様に継続されること、また下旬からは夏休みに入り、低級部位の動きも鈍化することが予測され、そのあおりを受ける形で国産豚肉の荷動きは、厳しい状況が続くものと予測します。これらのことから、枝肉相場はもちあいから、やや下げに転じると見えています。

豚枝肉相場(東京市場規格「上」)
平成31年1月～令和元年6月
平成30年1月～30年6月
(単位: 円/㌔)



鶏 肉

もも肉下げ基調、むね肉は強もちあい

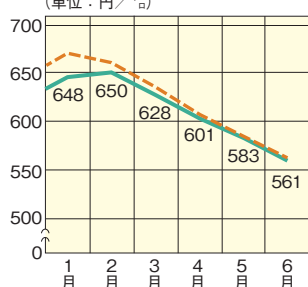
6月の平均相場は、もも肉561円/kg(前月比22円下げ)・むね肉226円/kg(同1円下げ)、正肉合計で787円/kgと前月比23円下げで前年比でも49円の下げとなりました。

もも肉は月初めに570円台であったものの、その後下げ基調となり月末は550円となりました。むね肉は、加工向けには一定の需要はあるものの、量販店等の惣菜向けや特売需要などが盛り上らず月初226円・月末222円とほぼもちあい圏内で推移しました。

7月は、気象庁の1カ月予想では、気温は平年並みかやや高く、降水量も平年より多いと予測されています。またイベントなども少なく、下旬からは夏休みが控えているため、消費の伸びも期待できないと思われま

す。これらのことから、もも肉は下げ基調は変わらず月平均で550円、むね肉については、加工やサラダ向けなど加工筋の引き合いも増加してきたことから若干の強もちあい圏内の230円と予測します。

ブロイラー市況(もも肉・東京)
平成31年1月～令和元年6月
平成30年1月～30年6月
(単位: 円/㌔)



鶏 卵

需要面は好材料に乏しい状況

6月の東京相場の月間平均は、Mサイズ基準値151円(前年比△14円)となりました。6月は上旬に下押しの展開となりましたが、中旬以降はもちあいが続きました。

6月上旬までは生産調整からの産卵復帰が本格化したことで、供給量が増加基調で推移したことに加え、大型連休の反動による節約志向の強まりもあり、業務筋を中心に荷動きは鈍化しました。また、加工筋のスポット購入の動きも限定的だったことから、産地在庫は増大傾向にあり相場展開も弱含みとなりました。中旬以降は、成鶏更新・空舎延長事業や生産調整の影響により、供給量が再び減少傾向に転じたことから需給バランスが均衡し、相場展開ももちあいが続きました。

今後については、生産調整の影響から一定期間は供給量も減少傾向が続くと考えられますが、夏季を迎えることから需要面は好材料に乏しい状況が続くことが予測されます。

鶏卵相場(東京・Mサイズ基準)
平成31年1月～令和元年6月
平成30年1月～30年6月
(単位: 円/㌔)



絵のコンクール 最終回

皆さんの暮らしに身近なプロパンガスをテーマに絵を描いてみませんか? JAグループLPガス事業ではクミアイプロパンにもっと親しんでもらうため、ふれあい活動を行っています。その一環として、今年も「クミアイプロパン絵のコンクール」を開催します。

【総合エネルギー部】

作品募集

クミアイプロパンキャラクター「キャッチくん」



「クミアイプロパン」をテーマに子どもたちの視点で絵を描いてもらうことで、プロパンガスの大切さや正しい使い方などをもっとよく知ってもらい、また組合員、お客さまにJAグループガス事業の取り組みへの関心を高めてもらうことなどを目的としています。

昨年の第34回には全国92校から1499点の応募があり、家族や食卓などの身近な風景を描いた心温まる作品などが集まりました。

今年も小学校低学年の部、同中学年の部、同高学年の部で開催します。入選作品は全農の広報誌やホームページなどに掲載するとともに、クミアイプロパンの広報資料として広く活用させていただきます。

長年取り組んできました絵のコンクールは、今年の第35回をもって最終となります。ぜひ、たくさんのご応募をお待ちしております。

募集テーマ

- ①「自然にやさしいエネルギー」
地球のためにできることを考えてみよう。
- ②「プロパンガスを安全に使いましょう」
ガス器具を安全に使って事故をなくしましょう。
- ③「もしもプロパンガスがなかったら」
不便なこと、困ることってなんだろう。
- ④「ふれあい家族とクミアイプロパン」
プロパンガスを使った家族みんなの楽しい時間。
- ⑤「生き物とクミアイプロパン」
生き物たちの暮らしにもエネルギーは必要だね。
- ⑥「キャッチくん*と仲間たち」
キャッチくんと友だちになったら、なにをしようか。
- ⑦「わたしの町(村)のガス屋さん」
お店で、町で、ガス屋さんはどんなことをしているのかな。
- ⑧「自由なテーマ」
プロパンガスの事をなんでも絵にしてみよう。

*キャッチくんはクミアイプロパンのイメージキャラクターです。

応募方法

- 対象 全国の小学生 大きさ 自由
- 提出先 「JAグループ LPガス担当部署」または「クミアイプロパン絵のコンクール」係
- 締切 令和元年二学期開始時 主催 JAグループ
- 提出作品の裏面に、かならず以下の事項を記入してください。
- ① テーマ(8の場合は自分で考えたテーマ)
 - ② 名前 ③ 学年 ④ 学校名 ⑤ JAグループ名
- *作品中に標語や文字を入れることは自由ですが、絵の一部とみなし、言葉の内容は評価の対象にはなりません。※詳しくは下記事務局までお問い合わせください。
- 〇「一般公募」について不明な点がある場合は下記までご連絡ください。
- クミアイプロパン絵のコンクール事務局(株)全農ビジネスサポート内
電話: 03-3296-8828 受付時間(月~金 9:00~17:00まで)

応募方法などの詳細や昨年の受賞作品はホームページでもご確認ください。

クミアイプロパン 検索
<https://www.zennoh.or.jp/gas/>



「食と農」の情報を広く消費者へ! スマホアプリを公開中

JA全農のイベントや新商品に関する最新情報がさらに充実! 作動環境: スマートフォン iOS8以上 Android4.3以上



JAタウン ショップ紹介

JAタウン | 検索 クリック

神戸味覚館 (JA全農兵庫)



「揖保乃糸」限定品・播州小麦(21把)【播州小麦粉使用】……3910円

JA全農兵庫「神戸味覚館」からご紹介するのは、兵庫県産小麦「ふくほのか」・「ゆめちから」を使用した手延そうめん揖保乃糸(ばんしゅう「播州小麦」)です。

粘りが持ち味の「ふくほのか」と、弾力性のある「ゆめちから」を使用し、小麦のうま味を最大限に引き出したブレンドの「播州小麦」は、兵庫県手延素麺協同組合と県内小麦生産農家が手を携え生み出した「揖保乃糸」の原点ともいえる「手延べそうめん」です。

素材・熟練の技・小麦生産農家の情熱により、もちもちした食感と播州小麦独特の風味をお楽しみいただけます。

鮮烈に広がる播州の地の恵みを、ぜひご賞味ください。

ご自宅用はもちろん、夏のご進物・お盆のお供えにもピッタリです。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com> ▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。